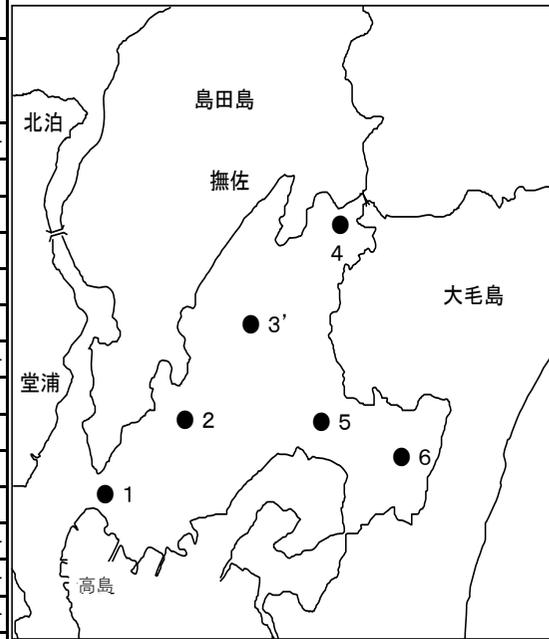


令和6年度 ウチノ海環境調査 (9月18日調査) 徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	DO (mg/L)	細胞/mL				
							シャットネラ 区分不能	シャットネラ オバータ	シャットネラ グロボーサ	カレニア ミキモトイ	コクロディニウム ポリクリコイデス
1	07:59	0-5			6.9		0.66	2.0	0.10	0.13	-
		0	27.32	31.68		5.6					
		1	27.29	31.61		5.6					
		5	27.29	31.63		5.5					
		10	27.29	31.64		5.5					
		B-1	27.29	31.64		5.5					
2	08:03	0-5			6.2		0.01	28.3	-	3.0	-
		0	27.74	31.73		6.2					
		1	27.69	31.74		6.2					
		5	27.31	31.71		5.3					
		B-1	27.24	31.70		5.1					
3'	08:10	0-5			7.2		1.47	26.0	0.07	0.09	-
		0	28.04	31.77		6.4	2.34	20.0	0.04	-	-
		1	28.05	31.78		6.4	0.96	21.7	0.05	0.01	-
		5	27.79	31.82		6.0	-	14.0	-	-	-
		10	27.50	31.86		5.5					
		B-1	27.47	31.87		5.5	0.31	3.0	0.02	0.01	-
4	08:18	0-5			8.2		1.13	11.0	0.07	0.03	-
		0	28.14	31.78		6.5					
		1	28.06	31.77		6.5					
		5	27.84	31.79		6.3					
		10	27.58	31.87		5.8					
		B-1	27.48	31.88		5.6					
5	08:24	0-5			6.9		0.75	15.7	0.01	6.7	-
		0	27.66	31.73		6.2					
		1	27.66	31.74		6.2	0.01	27.7	-	0.7	-
		5	27.65	31.78		5.9	-	18.7	-	17.7	-
		10	27.51	31.88		5.2	0.01	8.7	-	3.3	-
		B-1	27.37	31.87		4.6					
6	08:32	0-5			6.0		-	18.7	-	3.0	-
		0	27.82	31.79		5.6					
		1	27.79	31.80		5.7					
		5	27.68	31.80		5.7	0.07	12.0	0.01	27.3	-
		10	27.37	31.83		4.5					
		B-1	27.26	31.82		3.2					



備考

- ・有害種のシャットネラ属(区分不能、オバータ)が前回調査時より増加しました。本種は、高密度化すると魚類を斃死させる恐れがあります。今後の動向にご注意ください。  
シャットネラ属(3種合計 区分不能+オバータ)最大細胞密度 28.31 cells/mL (St.2 0-5m)
- ・有害種のカレニア ミキモトイが前回調査時から増加し、最大で27.3 cells/mL (St.6 5m) 検出されました。本種は、高密度化すると魚介類を斃死させる恐れがあります。今後の動向にご注意ください。
- ・有害種のコクロディニウム ポリクリコイデスは検出されませんでした。
- ・珪藻は、前回調査時と同程度でした。  
珪藻細胞密度 : 15 cells/ml (St.5 0-5m)